また、採用後の昇任、転任などの任用についても、この成績主義の原則に基づき、公正に実施されなければならず、人事評価の結果を任免に活用すべく、各府省に対して、制度の趣旨にのっとった運用を行うよう指導を行っている。さらに、人材育成、公務の活性化等の観点から、官民人事交流制度についても、公正を確保しつつ、円滑な推進のための環境整備を進めている。

一方、公務能率の維持及び公務の適正な運営の確保の観点から、職員が一定の事由に該当する場合には、その意に反して免職、降任、休職等の処分を行うことができることとされている。

第１節　人材確保

行政課題の複雑・高度化、グローバル化等が進む中で、高い資質と使命感を有する多様で有為な人材を確保していくことは、重要な課題である。国家公務員採用試験の応募者数は、民間企業における雇用情勢の変化に伴う変動はあるものの、少子化や公務を取り巻く厳しい状況の下、中長期的には減少傾向となっている。また、第１部で述べたように、民間企業の採用選考活動が平成27年度卒業・修了予定者から８月１日以降に遅らせて開始されることを踏まえ、国家公務員採用試験の日程についても繰り下げて実施することとなった。

このような中、公務の仕事の魅力、求める具体的な人材像などを発信するとともに、新たな人材供給源を開拓するために、各府省との連携・協力の下、積極的な人材確保・啓発活動を行った。

表1-1　**平成27年度人材確保・啓発活動の実施状況**

人材確保活動	実施回数	参加者数	内容等
総合職中央省庁セミナー	7地区9回	約1,640人	総合職試験の受験を志望する者を対象とした、本府省参加の合同業務説明会（公務の魅力や各府省が期待する人材をPR）
一般職各府省合同業務説明会	7地区7回	約5,070人	一般職試験の受験を志望する者を対象とした、本府省参加の合同業務説明会（公務の魅力や各府省が期待する人材をPR）
霞が関OPENゼミ	1回	延べ　約8,000人	中央省庁の職場を開放し、職場の雰囲気を直に感じ取ってもらうための体験型イベント
法科大学院生対象中央省庁合同業務説明会	1回	約50人	法科大学院修了生及び最終学年生を対象に各府省が公務の魅力や各府省の業務内容を説明

啓発活動	実施回数	参加者数等	内容等
霞が関特別講演	前期（春）　5大学18回 後期（秋）　4大学13回	延べ　約3,400人	大学生、大学院生に対し、各府省の第一線の行政官を講師とする行政課題についての講演
公務研究セミナー	7地区12回	約5,060人	国家公務員の仕事の魅力や勤務実態等に理解を深めてもらうための合同業務説明会
公務研究セミナーin霞が関	本府省1回	延べ　約3,000人	
女性のための公務研究セミナー	2地区3回	約870人	主に女性を対象として、国家公務員の仕事の魅力や勤務実態等に理解を深めてもらうための合同業務説明会
女性のためのトークライブ	2大学3回	延べ　約140人	主に女性を対象として、女性行政官を講師とする行政課題についての講演
公共政策大学院生 法科大学院生 霞が関インターンシップ	公共政策大学院　夏1回	8大学院43人14府省	公共政策大学院生及び法科大学院生が各府省の業務を体験（2週間程度）
	法科大学院　夏1回	8大学院29人11府省	

その他	実施回数	参加者数等	内容等
大学主催就職ガイダンス	2大学院18大学　21回 （うち女子学生対象12大学　13回）	約1,100人 （約550人）	各大学主催の就職ガイダンスに人事院職員を派遣
メールマガジンの配信	週1回程度	登録者数 約15,000人	国家公務員採用試験、採用関連情報を幅広く発信
フェイスブックの配信	週3回程度	－	採用関連情報等を幅広く発信

注）　人材確保・啓発活動等は、このほか人事院の各地方事務局（所）で実施しているものがある。

総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会

人事院は、総合職試験・一般職試験の受験を志望する者等を対象とした合同業務説明会（総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会）を全国の主要都市において実施した。各府省ごとに業務内容をはじめ、求める人材や仕事の魅力などについて説明するほか、各会場に相談コーナーを設け、試験制度の内容、試験方法、出題分野など参加者からの質問に対応した。

・総合職中央省庁セミナー（平成28年３月５日（土）～平成28年３月19日（土））　７地区９回　約1,640人

・一般職各府省合同業務説明会（平成28年３月２日（水）～平成28年３月22日（火））　７地区７回　約5,070人

霞が関ＯＰＥＮゼミ

人事院は、各府省と連携し、大学生・大学院生などを対象に霞が関ＯＰＥＮゼミを実施した。霞が関ＯＰＥＮゼミは、中央省庁の職場を開放して実際にその仕事ぶりを見学し、業務の説明や職員との意見交換等の機会を持つことを通じて、公務への理解と関心を高め、国家公務員志望者を増やすことを目的としている。

・平成28年３月３日（木）・４日（金）　29機関　延べ　約8,000人

霞が関特別講演

人事院は、公共政策大学院等と共催で、大学生・大学院生などを対象に霞が関特別講演を実施した。霞が関特別講演は、重要な行政課題について各府省の最前線で活躍する行政官が説明を行い、国民全体の奉仕者としての仕事の魅力や勤務の実情等について理解と関心を深めてもらうことなどを目的としている。

前　期（春）	東京大学公共政策大学院、一橋大学、名古屋大学、京都大学公共政策大学院、九州大学で、計18回38講演実施。参加者数：延べ1,840人
後　期（秋）	北海道大学、東北大学、東京大学、早稲田大学で、計13回28講演実施。参加者数：延べ1,532人

公務研究セミナー

公務研究セミナーは、国家公務員の仕事や各府省の業務概要、直面する政策課題（現在の取組、今後の展望等）の説明、仕事のやりがい、職場の状況などの紹介を通じて、国家公務員の仕事の魅力や勤務の実情等に理解を深めてもらい、学生の職業観の育成を図りつつ、公務に関心を持ってもらうことを目的としている。

・公務研究セミナー　平成27年９月17日（木）～平成28年２月19日（金）　７地区12回　約5,060人

・公務研究セミナーin霞が関　平成27年11月５日（木）・６日（金）　延べ　約3,000人

女性のための公務研究セミナー

女性のための公務研究セミナーは、国家公務員の仕事や各府省の業務概要、仕事のやりがい、ワーク・ライフ・バランスの取組状況等を伝えることにより、より多くの女性に公務への関心を高めてもらうことを目的としている。

地　区	東京地区（第１回）	東京地区（第２回）	近畿地区
実施日	平成27年10月17日(土)	平成28年２月12日(金)	平成28年２月８日(月)